

北中学校区小中一貫の教育目標

夢をもち 心豊かに輝く 北斗の若星

～すべては、子どもたちの笑顔のために～

名張市

【めざす子ども像】
【育みたい力】
【主な基本目標と主な取組】

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

〔夢を実現する力〕〔社会を拓く力〕

1 確かな学力の育成

- ・ 学力の向上
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ キャリア教育の充実

2 豊かな人間性の醸成

- ・ 人権・同和教育、道徳教育の推進
- ・ ふるさと学習「なばり学」の推進
- ・ SDGsを実現するための教育の推進

3 健やかな体の育成

- ・ 健康教育の推進
- ・ 体力の向上
- ・ 食育の推進

【基本理念】

未来を担う子どもの夢を実現するために、北中学校区小中学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合う。

【基本方針】

教職員の超過勤務等による健康上の問題が危惧される中、新しい事業を増やすことよりも、多様な主体の協働により教育効果を上げることを目指す。

そのためには、小中学校の教職員が中学校3年生の姿を実際に見て、課題を共有すること、明確な目標に向けてベクトルを合わせて取り組むことを大切にする。

また、一つひとつの行事や授業等の「ねらい」を明らかにし、「めあて」に対しての「振り返り」をし、PDCAサイクルを回していくことを大切にする。

北中学校区

〈めざす子ども像〉

互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや有用感をもつことができる子どもの育成

北中学校：夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成
－感謝・感動・つながり－

スムーズな接続

薦原小学校：持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

美旗小学校：みんな仲良く はつらつとした たのしい学校

すずらん台小学校：なりたい自分の実現に向け、人間性豊かに、人とのつながりを大切にする児童の育成
～自分らしく、仲間とともに、かっこよく！～

北中学校区児童生徒の実態と課題

- ・ 一人ひとりは、素直な児童生徒であるが、人間関係が希薄で、違った価値観に出会ったときに、受け入れることや折り合いをつけることが難しい。
- ・ 自己肯定感や自己有用感が低く、自信をもてないでいる場面が多く見受けられる。
- ・ 学習面では、与えられた課題には、真面目に向き合うことができているが、基礎基本の学力が定着していないため、粘り強くやりとげることができにくい。また、指示待ちの場面も多く見受けられ、主体的に学ぼうとする姿勢には弱さがみられる。
- ・ 生活や学習の規律面は整ってきてはいるが、より良く生活していこうとする意欲が低い。
- ・ 将来に見通しをもち、今の自分を原点にした「なりたい自分」のイメージがもてていないため、今の楽しみに流されてしまっている児童生徒もいる。
- ・ 不登校児童生徒が一定数いる。各校で具体的な取組をいっそう広げているところである。

小中一貫教育運営委員会(校区校長会議)	校長
小中一貫教育推進委員会	管理職・小中一貫教育担当等
合同研修会(全員【5/8・8/21】)	全教職員

各教科小中一貫カリキュラムの作成

学

「分かる授業づくりと学習意欲の向上と健やかな体づくり」

絆

「豊かな人間関係と居場所づくり」

志

「生き方を学ぶ教育活動の充実」

特別部会

主体的・意欲的に取り組む児童生徒の育成

自分や友だちを大切にする児童生徒の育成

様々な活動や出会いを通してSDGsの考えを基に夢や希望を持って生活する児童生徒の育成

ICTを活用できる児童生徒の育成

いきいきと学習に取り組める環境の整備

重点取組と検証	学力向上	体力向上	人権・同和教育の推進	生徒指導の充実	キャリア教育の充実	特別支援教育	ICTの有効活用	学校事務
	「学習形態を工夫した主体的な授業を目指して」 ①学びの基盤づくり ②共に学び合う学習活動 ③家庭学習の充実、読書の習慣化	「継続した体力向上の取組」 ①体力テストの分析と活用 ②児童生徒の実態に応じた体力の向上	「自尊感情を高め、なかまとのつながりを大切にする子どもの育成」 ①自己や他者を大切にする集団づくりの推進 ②人権教育カリキュラムの推進と見直し	「基本的な生活習慣の定着」 ①社会的なスキルの育成	「心にひびく授業実践の推進」 ①各校の取組の交流 ②キャリア教育カリキュラムの検証と見直し	「将来の夢に向かっての特別支援」 ①自立活動の取組の充実 ②交流教育の推進	「学びにつながるICT機器の活用と探求」 ①タブレットの有効的な活用方法について情報収集する ②定期的な情報発信・交流について	「児童・生徒の学習環境の整備」 ①校区で連携した予算執行 ②地域資源の効果的な活用 ③保護者、教職員への情報発信
	【具体的な取組】 1. ペア学習やグループ学習を取り入れ、学び合いを充実させる取組。 2. 「めあて」「ふり返し」の工夫・充実。 3. ノーメディアデー(年4回)の取組。 4. 読書活動の推進。 【検証】 ・児童生徒アンケートで「国語・算数数学の内容がよくわかる」の項目について「あてはまる」が50%以上、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」が85%以上になるようにする。(年2回)	【具体的な取組】 1. 小中9年間の体力テストのデータの蓄積と分析 2. 柔軟性向上のための運動を各校で取り組む 【検証】 ・2学期に「長座体前屈」を再計測し、変化を検証する。 ・各校の取組を交流する。	【具体的な取組】 1. 各校の人権研修を充実させる。(若い先生へ人権教育の進め方など) 2. 夏季研修での各校の人権学習の交流。 3. 授業公開 4. つどい、ヒューマンライツの取組。 【検証】 ・教職員に対するアンケートを実施し、分析する。	【具体的な取組】 1. あいさつができる子の育成、あいさつを習慣づける。(あいさつウィークの取組) 2. 生活習慣の確立。 【検証】 ・取組んだ資料等をロイロノートで交流する。	【具体的な取組】 1. キャリア教育カリキュラムに基づくキャリア教育の実践内容の交流。 2. 出会いや体験活動を重視した授業・活動 3. 学級活動を要としたキャリア教育の実践(キャリアパスポートを活かして) 【検証】 ・実践内容の交流。 ・学校アンケート「自分のことが好き」の数値の変化の交流	【具体的な取組】 1. 将来に向けてどんな力をつけていくか。 2. 進路(高校・就労)を考えての長期・短期目標の設定。 3. 各校の自立活動の交流。 4. 中学校の通級指導教室について小学校が学ぶ。 【検証】 ・学んだことをどう進路相談や支援で活用できたか。 ・学年末懇談で1年間を振り返り、成長を感じられたか。どのような意見や思いをもったか。満足できたか。	【具体的な取組】 1. ICTツールやアプリ等のさらなる有効活用を教科や行事への取組などで深め、児童生徒の「伝える」力を伸ばす。 2. 一人ひとりの教職員が使えるツールを増やし、スキルアップを図る。 【検証】 ・よりよく伝えるための文章構成にシンキングツール等を活用し、「わかりやすい」発表等につながったか。 ・教職員のICT活用についてのアンケートで取組方法やその効果を情報収集し、分析する。	【具体的な取組】 1. 集金や就学援助等を中心に各校の現状や課題について情報共有する。 2. 昨年度まとめた講師謝礼一覧をさらに充実し、各校で活用できるよう情報共有する。 【検証】 ・学校運営を支援できたか検証する。

学校評価アンケート(統一様式の活用、経年変化の還元)

評価方法	全国学力・学習状況調査 みえスタディ・チェック なばりスタディ・チャレンジ	体力・運動能力調査 みえ元気アップシート	いじめ調査 学校評価アンケート 学級満足度調査	学級満足度調査 長期欠席、不登校状況 独自の「あいさつアンケート」	学校評価アンケート	学校評価アンケート	全国学力・学習状況調査 質問紙	教職員アンケート
北中	小杉 晃 中川 幹子 佐藤 良昭	北 森田 知徳 田中 利樹	北 高島 裕美 濱田 博之 頼田 実鈴	北 星森田 和也 秋本 光哉 横田 亜紀	北 村手 光宗 土井 千佳 西尾 優花	北 藤田 尚克 仲 公子 東 竜也 吉兼 亮 山田 利佳 南端 大輝	北 ☆中森 薫 本間 光大朗 森田 侑記	北 福西 真美
薦原小	小幡 弥郁 小芝 実結 ☆森 恭一 矢作 若葉	薦 高野 風人 二井 ひかり 大坂 彩香	薦 ☆高橋 菜穂 吉村 恭子	薦 松田 美幸 堀内 麻美 安川 周良 吉兼 千尋	薦 ☆井岡 あずさ 隠岐 彩音 齋木 優	薦 岡本 隆行 細矢 麗雅 ☆数根 裕生 出口亜香里	薦 伊藤 健二 尾崎 菜乃	薦 井上 里佳 林 かおり
美旗小	山崎 大 村田 瑞穂 川極 道子 桂 なつみ	美 ☆鈴木 亜門 堀ノ内 愛美 松本 奈緒	美 大垣内 清広 窪田 薫 川北 実果	美 山門 朋子 井岡 恵 田中 麻友	美 田横 賢人 石橋 祐香 上山 幸香	美 亀田 真理子 福廣 真士 池村 美季	美 千石 純也 篠澤 孝明 木下 みさき	美 ☆川口 珠美
担当	宮本 正寛(薦原小) 教育研究推進委員会	谷口 和也(美旗小) 保健体育代表者会	野田 朋恵(北中) 学校人権・同和教育推進委員会 校区人権教育推進協議会	中矢 佳代(薦原小) 生徒指導推進委員会 校区養護部会	西岡 俊充(すずらん台小) キャリア教育担当者会	鈴木 佐知(すずらん台小) コーディネーター連絡会 もみじのつどい実行委員会	山村 裕見子(北中) 情報教育担当者会	山本 優子(美旗小) 学校事務共同実施 学校間連携業務

美旗まちづくり協議会
薦原地域づくり委員会
すずらん台まちづくり協議会
等 各団体

家庭
地域
行政

との連携・協働

コミュニティ・スクール
学校運営協議会

OCSの活性化
・学校運営協議会による授業参観
・地域ボランティアの活用
・児童生徒の地域貢献

令和6年度の検討事項

中学校合唱コンクール実施及び見学・乗り入れ授業・出前授業の検討

